

- ・日 時：平成 24 年 2 月 8 日(水) 14：30～17：30
- ・場 所：JGS 会館
- ・出席者：國生，赤木，岸田，小椋，石原，菊池，佐藤，高橋，重村，宮田，清木（西村代理），沓澤，伊藤，末岡，青木（事務局）
- ・欠席者：東畑，金尾，佐伯，内藤，太田，吉嶺，松島，佐々木，若井，後藤，荻本，橘，王，竹山

1. 前回議事録等の確認

H23/12/02 第 4 回運営委員会議事録（案） 【別紙－ 1】

H23/10/27 第 1 回評議員会議事録 【別紙－ 2】

2. 最近のスケジュール

第 2 回評議員会：平成 24 年 2 月 23 日（木）16:00～19:30

特別講演は，安田進先生「東日本大震災における東京湾岸の液状化」

支部総会：平成 24 年 4 月 23 日（月）16:00～19:30

→特別講演会については，東京スカイツリーについて講演を依頼中であるが不調に終わる可能性がある。

→地震研の平田先生，東北大名誉教授 首藤先生なども考えられる。

3. 本部からの連絡・検討依頼事項

(1) 第4期代議員の推薦について 【別紙－ 3】

(2) 「地盤工学会誌」優秀賞 2 次選考委員の選任について 【別紙－ 4】

(3) 地盤工学会名誉会員候補者の推薦依頼について 【別紙－ 5】

→理事経験者であるなどの理由から，推薦者を決定した。

(4) 地盤工学会功労章候補者の推薦依頼について 【別紙－ 6】

→持ち点に従って，推薦者を決定した。有資格者が 6 名程いたが，枠に従って 2 名推薦した。

→会員数に比して，支部からの推薦者枠（2 名）が少なすぎる。

→関東支部の方は，本部から推薦されることが多いので，現状でよいのではないか。

(5) 外国人名誉会員推挙候補者の選任依頼について 【別紙－ 7】

→太田前支部長の推薦による。日本とのかかわりも深いため，推薦。

(6) 平成 24 年度支部「事業計画案・正味財産増減予算案」ご提出についてのお願い 【別紙－ 8】

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

(1) 浦安市建築指導課個人住宅相談に関する専門家派遣要請 【別紙－ 9】

→安田委員会がサポートしていた部署と違う部署（建築指導課）から，相談会に専門委員を派遣してもらいたい，との依頼があった。委託契約で，という話であったが，担当者が安田委員会のサポートをご存じなかったため，それをお伝えし，その枠組みの中で支援できれば，ということになった。

(2) 支部表彰規定について 【別紙－ 10】

→「3. 表彰の考え方」を設け，推薦・被推薦対象について説明を加えた。「3. 関東支部表彰規定（案）」は，「4. 関東支部表彰規定（案）」の間違い。

→会員・支部部に報告することに（他の支部の参考のため）。

→了承されたので，評議員会で承認を受けて，総会で報告。

(3) 10 周年記念事業の準備について 【別紙－ 11】

→平成 25 年度に東京都以外の各県グループで実施，平成 26 年度は東京都という枠組みは変えず，内容については改めて考える方向で実施。

→その調整も含めて，来年度から準備委員会を設置し，平成 24 年度に事業計画・予算を考える。

→10 周年記念の事業の一環として，Geo-Kanto を盛り上げて行きたい（平成 24 年度から予算を充当）。

(4) H23 年度予算執行状況（12 月末現在） 【別紙－ 12】

→現時点（12 月末）で，正味財産期末残高は 900 万プラス。当初予算は赤字を想定していたが，例年通り

の執行状況となれば、残高が大幅に増えることはない。

5. 開催結果、進捗状況の報告

(1) 第7回地盤工学会栃木県グループ講習会

地盤を学ぶ「地震時における地盤災害の課題と対策」開催のご案内

【別紙-13】

(3) 「防災・減災のための地盤構造物の設計・施工法に関するシンポジウム」のご案内

【別紙-14】

(4) 平成24年度新設研究委員会」活動テーマ案の募集

【別紙-15】

(5) 第4回工法協会交流会

「液状化対策工法を対象とした工法協会交流会(その1)」開催のご案内

【別紙-16】

(6) 「土壌・地下水汚染の調査・予測・対策に関する勉強会」のご案内

【別紙-17】

(7) 若手交流会行事報告

【別紙-18】

(8) 出前講座対応状況

出前先 千葉県立市川東高等学校

日時 平成23年11月30日

講演内容 液状化(講義と実験)

講師 埼玉大学 教授 桑野 二郎 先生

出前先 神奈川県庁

日時 平成24年1月26日(木) ※翌日は施設見学

会場 波止場会館(県庁すぐそば)

講演時間 14時頃から1時間

希望する講演内容 軟弱地盤掘削における土留め工法と補助工法等

講師 大成建設(株) 横浜支店 土木部技術室室長 小林 敏彦 様

→金町下水処理場からも依頼あり。桑野先生を派遣予定。

(9) ニュースレターNo. 25 発行 (H23.12.13)

6. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

(1) 会員サービス G 【別紙-19】

→ソイルタワーコンテストは、会費が集まりすぎたので黒字。来年度は、学生が参加しやすい秋頃に開催したい。Geo-Kantoとあわせての開催も検討する(翌日の土曜日)。

→10周年準備委員会にも人を出す必要があるので、幹事の公募をしたい。

(2) 茨城県 G

(3) 栃木県 G 【別紙-20】

→講習会・勉強会の実施状況の報告、来年度の計画等について説明があった。

(4) 群馬県 G 【別紙-21】

(5) 山梨県 G 【別紙-22】

(6) 千葉県 G 【別紙-23】

→評議員：辻様(逝去に伴う交代) → 番場様(来年度から、今年度の評議員会のご案内を出す)。

(7) 埼玉県 G

(8) 神奈川県 G 【別紙-24】

→リーダー幹事交代：荏本(神奈川大学) → 森川(港研)

(9) 研究委員会 G 【別途資料】

→新規研究委員会(3件)の採択について、了承。

→研究委員会グループ内規変更についても了承。ただし、委員となる会員は、必ずしも関東支部会員である必要がないことがわかるようにする。

→日下部委員会は、来年度は本部での活動になる可能性がある。

→「火山由来・・・」の予算において、報告書作成を公1に入れるのであれば、それに見合う販売収入を見込む必要がある。

→修正する

(10) 支部発表会 G 【別紙-25】

→参加費は無料で(論文投稿料は払ってもらう)。これにより、施設利用料(会場費)が35万円程度にな

る（料金区分Ⅰ類）。ただし、審査があるので、場合によっては60～70万（料金区分Ⅱ類）になる可能性もある。支部からの運営補助は、従前どおり50万円を想定。

→会員サービスGの考えているソイルストラクチャーコンテストを会場の日本科学未来館とタイアップできれば、広い会場で出来るかも（ただし、あまり汚れないものにする必要があるかも）。

→お金よりも、たくさんの参加者を集める方が大事。

→PR論文を募集する、特別会員にPRの場を与える（これを機会に特別会員になってもらう）という方法もある。

→基本的に了承（日程、場所、参加費等）。

(11) 企画総務G 【別紙-26】

7. 次年度予算と支部活動について

【別紙-27】

→予算について、赤字であることを初めから認めているのは健全ではない。年度内の収支バランスを取るのが基本なので、定常的な部分については、バランスが取れていることを確認したほうがよい。

→首都圏直下地震が話題になっている（重大に受け止められている）。関東支部として何が出来るのか・何をすべきか、戦略を練る必要があるのではないかと（國生）。

→企画総務Gで検討（既にあるものを活用するので、研究ではなく、一般向けを想定）。

8. その他

(1) 退会届 (株)アサノ建工 H23.11 4級 合併のため((株)アサノ大成基礎エンジニアリング)

(2) 次回予定 第6回運営委員会 平成24年 3月22日(木) 14:00～17:00

以上